

2023年9月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費は持ち直しているが
企業活動の一部にやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年9月26日公表）において、「景気は、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目については、「企業秀恵雨期」で判断が引き上げられたが、「住宅建設」の判断は引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に8月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」、「輸出」の判断は維持された。「住宅建設」は、資材価格や人件費の高騰を背景に、住宅着工戸数が減少傾向にあることから、「このところ弱含んでいる」との判断に引き下げられた。

② 企業活動に関して、「生産」、「設備投資」、「業況判断」、「倒産件数」のいずれについても判断が維持された。「企業収益」については、法人企業統計において、4～6月期の企業の経常利益が過去最高となったこともあり、「総じてみれば改善している」との判断に引き上げられた。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「消費者物価」が「上昇している」、「国内企業物価」については、「緩やかに下落している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、**百貨店・スーパー販売額（8月）**は、前年同月比2.6%増となり11か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（8月）も前年同月比4.4%増となっており、持ち直しの動きが続いている。食品価格の上昇が続き、家計の節約志向の強まりが懸念されるものの、7月に続く猛暑が、涼商材の販売を伸ばし、全体の売上増に寄与したものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、8月）は、前年同月比20.4%増となった（増加は12か月連続）。半導体不足の緩和によりメーカーの新車供給量が持ち直しに向かっている。ただし、コロナ禍前（2018年8月）の販売台数との比較では10.6%減となっており、依然としてコロナ禍前の水準は回復できていない。全国についても、4～9月期の新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む）は、前年同期比16%増ながら、コロナ禍前の19年度と比較した場合、15%減となっている。

新設住宅着工戸数（8月）は、前年同月比4.8%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。県内の新設住宅着工戸数の約半数を占める「持家」は6か月連続で前年を下回っており、「分譲住宅」も7か月連続で前年を下回った。

資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（7月）**は、前月比1.3ポイント上昇（上昇は2か月ぶり）するも、その水準は直近の最高値104.0（2022年11月）に比べて、10.6ポイントも低い。下降要因としては、はん用機械工業、石油・石炭製品工業、食料品工業における生産指数の低下である。

国内全体では、半導体等の供給制約の緩和もあり、自動車工業を中心に生産指数は持ち直し傾向にある。県内については、主要業種である化学工業、鉄鋼業で生産指数は上昇しているものの、前述のはん用機械工業に弱さが見られる。

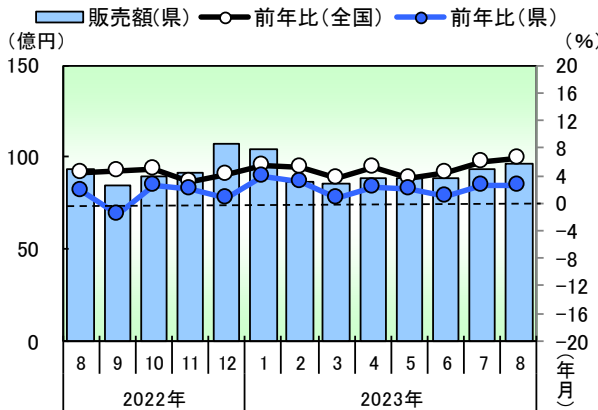
公共工事請負金額（8月）は、前年比42.5%減と大幅に減少した。前年同月には阪和自動車道高架橋更新工事（請負金額51.8億円）があり、本年8月の大幅減少については、その反動減が大きなき要因となっている。ただし、4～8月累計での請負金額は前年同期比12.0%減となっており、2022年度に引き続き公共工事請負金額は減少傾向にある。地域別では、和歌山市を含む和歌山地区、橋本地区、湯浅地区で請負金額が減少する一方、田辺地区、串本地区、新宮地区については増加している。

帝国データバンクが発表している**県内TDB景気DI（8月）**は、前月から2.3ポイント下降した。下降は5か月ぶり。製造業で景気DIが1.8ポイント上昇する一方、建設業、卸売業で下降となった。このような状況を受けて、帝国データバンクは、「長期的には緩やかな回復が続くとみられるが、物価高が景気浮揚の足枷となっているのは明らかで当面の県内景況は一進一退の見込み」としている。

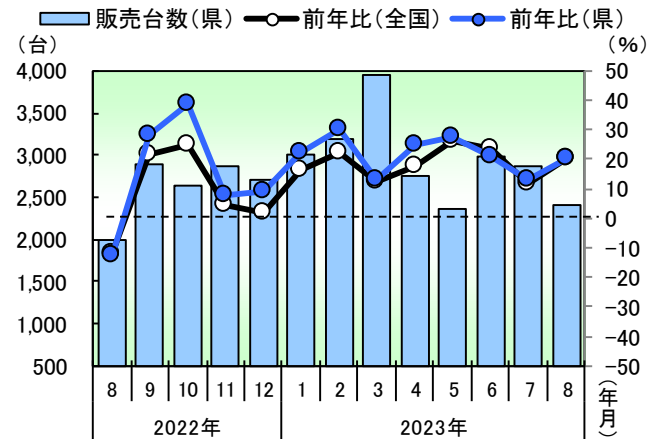
③ 雇用面については、**有効求人倍率（8月）**は、前月から0.03ポイント上昇し1.13倍となった（上昇は6か月ぶり）。有効求職者数が減少する中で、有効求人数が5か月ぶりに増加した。ただし、新規求人数は5か月連続で前年を下回っており、業種別では宿泊業・飲食サービス業、建設業などで新規求人数が減少している。

経済活動の正常化に伴い、人手不足感が強まる一方で、原材料価格や光熱費の高騰により、人手不足でも人材を採用できない企業が増えているものと考えられる。

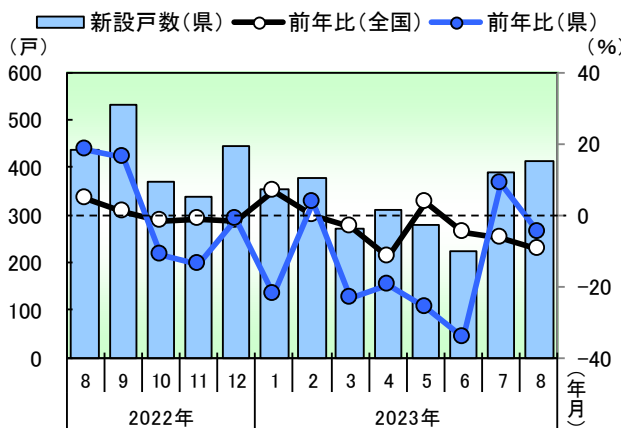
百貨店・スーパー販売額



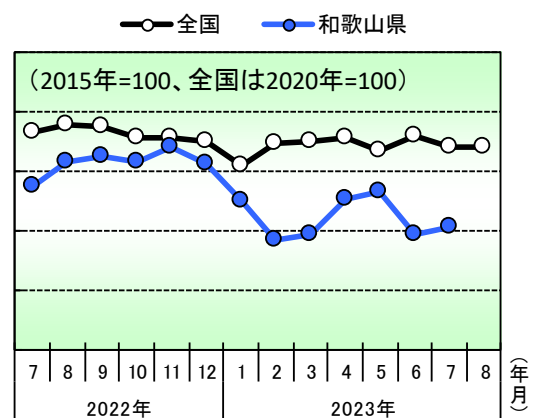
新車（登録車＋軽自動車）販売台数



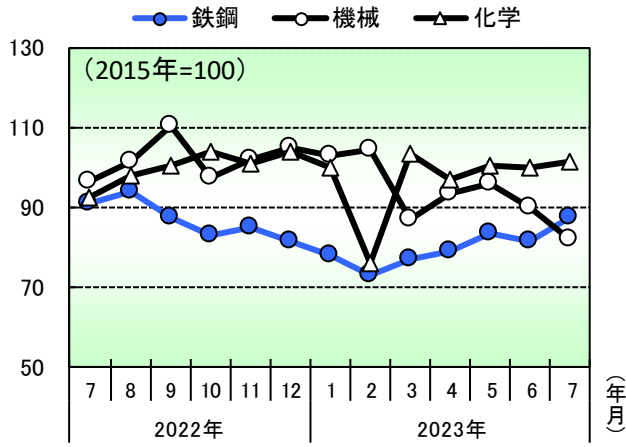
新設住宅着工戸数



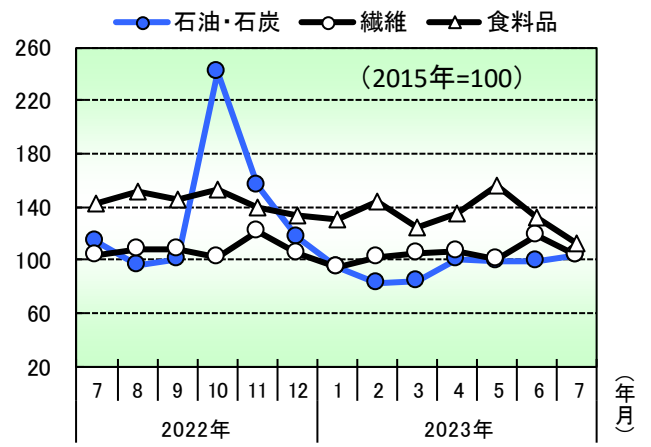
鉱工業生産指数



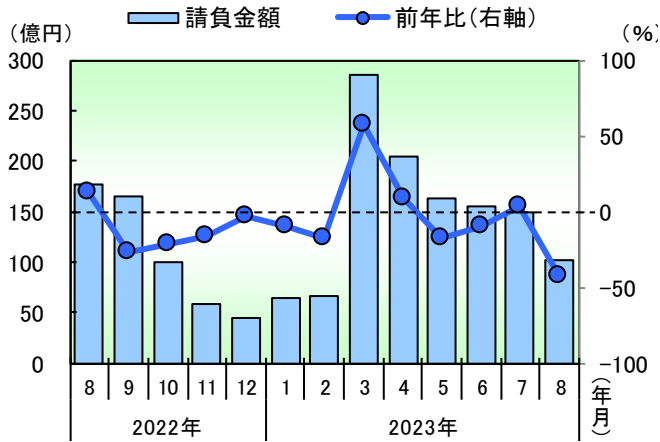
鉱工業生産指数(和歌山県)



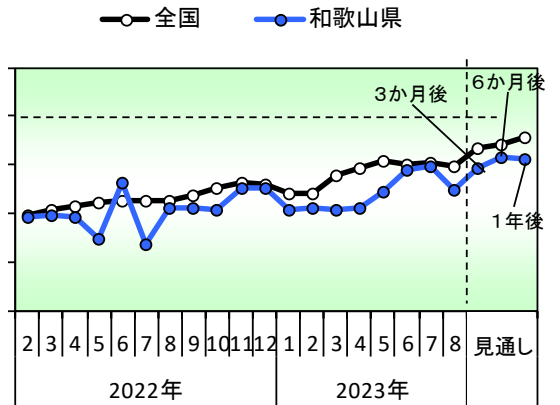
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

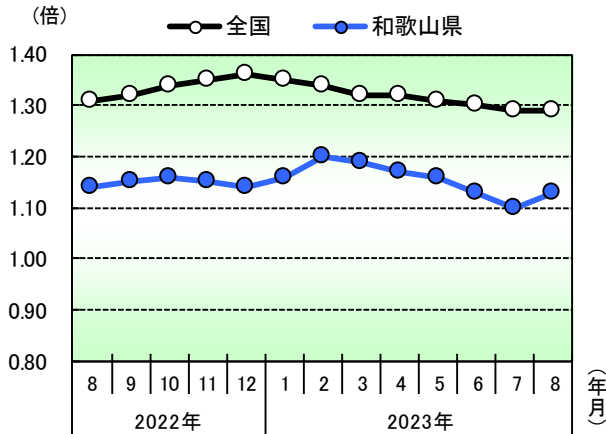


TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料)株式会社データバンク

有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2022年7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.1	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.4	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8

(2023年10月6日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2022年7月	106.3	97.2	90.8	96.2	92.2	114.3	104.0	142.4	145.3	-5.5	36.9
8月	107.8	101.3	93.8	101.3	97.8	96.0	108.2	151.1	176.8	12.5	40.6
9月	107.3	102.3	87.2	110.3	100.3	100.1	107.6	145.2	166.1	-26.9	40.6
10月	105.5	101.5	82.7	97.3	103.7	241.8	101.4	152.2	100.6	-21.2	40.3
11月	105.5	104.0	85.0	101.6	100.6	155.6	121.2	139.0	58.5	-16.1	42.7
12月	104.9	101.0	81.5	104.7	103.8	116.8	105.0	132.9	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	100.8	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.8	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.5	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	103.2	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2
6月	105.7	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4
7月	103.8	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.0	112.4	150.4	3.5	44.8
8月	103.8								101.6	-42.5	42.5

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年10月6日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人 数 (人)	有効 求職者 数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2022年7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0
5月	1.31	1.16	16,464	14,179	16.5	20.2
6月	1.30	1.13	16,005	14,223	14.0	17.8
7月	1.29	1.10	15,975	14,466	14.1	15.4
8月	1.29	1.13	16,291	14,453	13.3	14.5

(2023年10月6日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。